

令和5年度 地域情報化アドバイザー制度活用報告書

地域情報化アドバイザー制度の活用実績について、下記のとおり報告します。

記

1. 申請団体情報

1-1. 申請団体

団体名	藤井寺市	代表者名	岡田 一樹		
担当者部署	政策企画部	連絡先電話番号	072-939-1111		
担当者役職	主査	担当者氏名	山田 智寛	連絡先E-mail	jouhou@city.fujidera.lg.jp
住所	583-8583 大阪府藤井寺市岡1-1-1				

1-2. 推薦団体（「区分」が「協議会」または「NPO・商工会・大学等」の場合のみ入力）

2. 派遣アドバイザーに対する評価と要望

支援を受けたアドバイザーに対する評価をお願いします。

アドバイザー	米田 宗義
評価	大変よい
上記評価の理由（どのようなところがよかったか等詳細に）	<ul style="list-style-type: none">DXとは何か、なぜDX推進が重要なのかを、これまでのICTとの違い等を交えて丁寧にわかりやすくご説明いただいた。地域のDX、行政サービスのDX、庁内業務のDXといったあらゆる面から見たDXをご説明いただいた。本市が今どういった課題があり、今後何に取り組むべきかについて、適切なアドバイスをいただいた。
アドバイザーへの要望事項	特になし。

3. 地域情報化アドバイザー派遣実績

3-1. 対応日・時間	派遣日予定日（申請書より）	支援内容（申請書より）	期日・支援内容の変更あり		
	令和5年11月1日	講演(実地)	無		
	実施した派遣日	実施した支援内容	開始時刻	終了時刻	内休憩時間（分）
			10時00分	16時00分	120
			活動時間（分）	240	
3-2. 派遣場所	会場名	藤井寺市役所	最寄駅	藤井寺駅	
	所在地	大阪府藤井寺市岡1-1-1	最寄駅からの交通手段	徒歩	

4. 報告書に関しての地域情報化アドバイザーホームページ「派遣事例」への掲載許可

掲載許可	<input type="radio"/> 掲載可	https://www.r-ict-advisor.jp/cases-case-good-practices/past-year-all-houkoku/
------	---------------------------	---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

5. 依頼内容及び支援を受けたことによる成果・効果

5-1. 支援を受けた対象者	属性（職員、一般、企業等）について【自由記述】	人数
	職員（管理職）	28人

5-2. 支援を受けるにあたって目指した成果と実勢に支援を受けたことで改善又は解決した成果・効果

事業の課題・問題点（具体的にご記入下さい）	庁内向けに、情報リテラシーを身に着けるための情報共有等を行っているが、なかなか浸透していない。そのため、業務フローが整理されていないことが多く、オンライン化やデジタル化を進める人材も少ない状況である。また、所属部課におけるDX推進の機運を高めていく立場である幹部職員においても、その役割についての認識が薄いと感じている。
支援により目指す成果（具体的にご記入下さい）	幹部職員がDXの重要性を深く理解し、今後リーダーシップをとって所属部課の職員まで改革意識を浸透させ業務の効率化につなげていく。
アドバイザーに支援を受けた内容（具体的にご記入下さい）	午前の部（10：00～12：00）は、理事者、部長級職員を対象としたトップマネジメント層研修を実施した。 午後の部（14：00～16：00）は、次長、課長級職員を対象とした幹部層職員研修を実施した。 基本的にはどちらの研修も、DXについての基本的な説明、今後予想される課題と解決策、他団体の事例、DX人材育成の必要性、幹部職員に求められる役割等について研修していただいた。

支援を受け改善又は解決された内容 (具体的にご記入下さい)	<ul style="list-style-type: none"> 市全体でDXを推進していくためには、情報担当課や一部の部署だけではなく、市職員全体でDX推進の意欲を高めていくことが必要で、DX推進に向けて具体的に何をすべきか検討し行動に移すことが今後の市の体制に大きく影響することを理解した。 DX人材育成に力を入れ、改革意識の高い職員が在籍する部署から改革の火をつけて全体に浸透させることが重要であると学んだ。 理事者や部長級職員など各立場からDXを推進するための役割等を説明いただき、受講者のDXに対する理解や意識が深まった。 	
具体的な成果物	最も当てはまるものをリストより選択下さい。	⑥途中段階であり、具体的な成果物はできていない
改善又は解決されなかった内容 持ち越しとなった内容 (具体的にご記入ください)	特になし。	
アンケートの内容と分析結果	講演・セミナー又は個別の事業支援の実施にあたりアンケートを行った場合は、その内容と分析結果についてご記入下さい。(EXCELやPDFでの分析結果を添付されても結構です。)アンケートを行わなかった場合はその理由をご記入下さい。	
	別添のとおり	
5-3. 今後の計画	最も当てはまるものをリストより選択下さい	②次年度に予算化を図り推進する
事業の最終的な目指す姿	幹部職員のDXマインドの向上、若手職員にもDXの必要性を浸透させ、業務の見直し及び効率化を実現させる。	

なおくその他>を選択した場合、具体的な記入が必要となりますのでご注意ください

6. 地域情報化アドバイザー支援の様子

今回の派遣における地域情報化アドバイザーの支援の様子がわかる「写真(JPEG)」を次ページに数枚程度貼り付けて下さい。

